



森戸よう子議員
どんな人？

森戸よう子 活動レポート

学校給食、介護保険料…、市民のみなさんと一緒に 切実な願い実現に全力投球

森戸よう子市議は、9期35年。いつも市民のみなさんと一緒に、切実な願い実現に向けて活動し続けてきました。その一端を紹介します。

インタビュー

—なぜ議員になろうと思ったのですか？

森戸:結婚して長女が生まれ、公園で一緒に遊んでいた時に子どものトイレがなくて、困りました。市役所に電話したら「自宅ですてください」(笑)。

そんな時にお話があって、子育て世代の声を届けることが大事だなと思い決意しました。

—議員になってから、出産した小金井市議会第1号だそうですね。

森戸:はい、当選した翌年に長男が生まれました。2人とも別々の保育園で送り迎えは大変でした。また当選直後の初質問で、乳幼児医療費の無償化を提案。その後も粘り強く要求し続け、1993年にようやく実現できました。

—森戸さんのモットーは？

森戸:「継続は力」という言葉が好きです。そして「諦めない！」ことが大事だと思っています。東小金井駅南口の朝の駅頭宣伝は36年間継続。→→



高校時代から取り組んできた核兵器廃絶の活動。あれから50年。核兵器禁止条約が成立し、世界の国々が核兵器の生産も使用も威嚇も禁止する声を上げています。世界は確実に前へ進んでいることを確信しています。

学校給食費の無料化が25年1月から

2017年から一般質問等で求め続けた小中学校の給食費の無償化が、市民、国会議員、都議会議員との連携で実現しました。市民が取り組む署名活動に参加し、2500名を超える署名が集まりました。国立・私立、不登校の児童・生徒も対象にすることを求めた陳情書の採択に全力を尽くしましたが、自民、公明、立憲民主が都の補助金の対象外を理由に反対し、不採択にしました。引き続き実現に全力をあげます。



国の給付金の対象者を 年収100万円から150万円に拡大

国の臨時特別給付金等は一人暮らしで年収100万円以下が対象。22年12月以降、対象者の拡大を要求。23年3月には均等割のみ課税世帯(一人暮らし年収150万円)に拡大するべきと要求。23年12月に市が重い腰をあげ価格高騰重点支援金は、均等割のみの世帯も対象に。1300世帯以上に支給を拡大できました。

生理用品の公共施設や学校トイレへの配備

21年6月定例会で、学校や公共施設等のトイレに生理用品の無償配備を提案。その後、学校や公共施設(市役所第2庁舎、マロンホール、保健センター)に配備されました。23年12月災害対策として、多種類の生理用品の備蓄を要請し、市は検討することを約束。



▲市のHPより

介護保険料の減免制度の拡充

22年3月定例会で、介護保険料の減免対象が、他市と比較して小金井市は厳しいことを指摘し、対象者の拡大を要求。それ以降粘り強く要求し2024年度から一人世帯で前年の年収150万円以下が対象に拡大され、制度を受けられる人が増えました。

栗山公園健康運動センターの改善



市民からトレーニングルームの修繕を求める声が寄せられ、現地調査に。女性更衣室の利用者からも要望を伺い、23年12月定例会で市に改善を求めました。その結果、トレーニングマシン、更衣室のロッカーの取り替えが実現。また公園の池の水を循環させるモーターが

壊れ修繕を求めています。が、市は25年度中に対応すると約束しました。



日本共産党